

第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 令和7年10月8日(水) 公開授業 I
児 童 22名
指導者 三浦 達 美

1 単元について

(1) 単元名 「ムラサキ(紫根染)と平館のつながりについて調べ、伝えよう」

(2) 教科等横断的単元構想図【総合的な学習の時間+社会科】

〈児童の実態と教科横断するよさ〉

生活科や総合的な学習の時間で平館地域について理解を深めてきており、地域の特色や文化について学んだことは知識としてあるが、それらを守ろうと取り組んでいる人々がいることやそれに自分から進んでかかわろうとする意識は高くない。「問題解決力」と「他者に対する受容・共感・敬意」を育成するために、総合的な学習の時間と社会科をつなぐ。

〈社会科〉

自然条件から見て人々が、環境に適応して生活していることを捉え、工夫や課題を克服する努力をしていることについて分かったことを自分の視点でリーフレットにまとめる。

「自然条件に合わせた産業を進めたり、暮らしの工夫をしたりしているんだな。」

「自然条件の特色」と「人々の暮らし」を結びつけて考えられるように、「何のための工夫か」「なぜその産業を進めてきたのか」という視点を示して比較する。

〈総合的な学習の時間〉

「紫根染コサージュ」から、平館と「ムラサキ」(紫根染)のつながり(関係)を自然条件や人々の思いなどの視点で予想し、学習計画を立てて調べる。

「平館にあった『ムラサキ』で、紫根染をしている。「ムラサキ」は、希少なものと初めて知った。無くしたくないな。もっと知りたいな。」

「ムラサキ」(紫根染)への興味・関心を高めるために、紫根染のコサージュ(実物)とそれに込めた平館高校の生徒たちの思いを導入で提示し、社会科の既習事項や経験をもとに予想させ、学習計画を立てる。

〈総合的な学習の時間〉

調べ学習や「紫根染」体験を通して、ムラサキの希少性や紫根染には手間がかかること、平館高校の生徒達の努力について感じ取り、地域の文化への誇りや人々への感謝の念をもつ。

「『ムラサキ』ってとても希少なものと分かった。」「紫根染は、すごく手間がかかるんだな。」「教えてくれてありがたいな。」「平高生の作ったコサージュって素敵だな。」「平高の生徒さん、すごいな。」

平館高校の生徒たちとの関わりや紫根染の体験を通して、ムラサキの希少性やムラサキと地域との関連を知り、地域への誇りを高めたり、高校生の努力に対する視点をもてるようにする。

〈総合的な学習の時間〉

「ムラサキ」(紫根染)について調べたり、体験したりしたことを発信するために、自然条件や人、文化などの視点で、自分が伝えたいこと、思ったこと、感じたことを、誰に伝えたいのかを意識させて、リーフレットやパワーポイントにまとめる。

「こんなにすごい『ムラサキ』や紫根染のことを、みんなにも知らせたいな。」「去年の5年生はパワーポイントでまとめていたな。」

自分が伝えたいと思ったこと(すごいな、残したいな等)をリーフレットやパワーポイントなどでまとめることで、それを周りの人(平高生、保護者、地域)に伝えようとする態度を育てる。

○自己(人間)の生き方にかかわる目指す児童の姿(育みたい資質・能力が表れた姿)

〈総合的な学習の時間〉

「ムラサキ」(紫根染)について、高校生を中心とした地域の方との関わりを通して調べることで、地域の環境や文化を大切にする人々の思いや努力に気づき、平館地域に対する誇りと愛着を高め、ムラサキ(紫根染)を地域に広げたり残したりするために自分ができることを考え行動しようとする児童。

2 単元の評価規準

教科	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習に取り組む態度
総合的な学習の時間	<p>①紫根染は、地域に残るムラサキとつながる文化であることを知る。</p> <p>②調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施している。</p> <p>③ムラサキについての課題解決に取り組むことで、地域の文化に対する理解が深まっていることに気付いている。</p>	<p>①ムラサキへの関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくっている。</p> <p>②課題解決に必要な情報を、多様に収集し、蓄積している。</p> <p>③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理して考えている。</p> <p>④相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。</p>	<p>①課題解決に向け、自分のよさに気付き、進んで取り組もうとしている。</p> <p>②自分と違う意見や考えのよさを理解しながら、協働して学び合おうとしている。</p> <p>③地域の人々と関わりながらムラサキを調べる中で、自分にできることを見付けようとしている。</p>
社会科	<p>①我が国の国土の地形や気候の概要を理解しているとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。</p> <p>②地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、リーフレットにまとめている。</p>	<p>①地形や気候などに着目して、問いを見だし、人々の生活について考え表現しようとしている。</p> <p>②地形や気候の条件と人々の生活や産業の工夫などを関連づけて、国土の自然環境の特色と国民生活との関連を考え、適切に表現している。</p>	<p>①我が国の国土の自然環境の特色と国民生活との関連について、予想や学習計画を立てたり、見通しを立てたりして、主体的に問題解決しようとしている。</p> <p>②学習したことをもとに、地域の自然条件と暮らしや産業の関係についても考えようとしている。</p>

3 単元計画（31時間）

	小単元名 (時数)	ねらい・学習活動(時数)	考える活動の手立て	知	思	態
社会科	1 自然条件と人々の暮らし (10)	・暖かい地域や寒い地域、高地や低地のそれぞれの様子に着目して、各地の自然条件と人々の暮らしや産業との関係について、学習問題を作る。(1)	ア 考えを引き出す		①	
		・気候や地形に特色のある地域の暮らしや産業について、自分の住んでいる地域と比較し、調べる内容や調べ方を話し合う。(1)	ア 考えを引き出す			①
		・沖縄県の気候に着目して、観光や特産品、暮らしの様子を捉える。(3)	イ 考えを整理・分析する	① ②		
		・長野県野辺山原の気候に着目し、農業や特産品、暮らしの様子を捉える。(3)	イ 考えを整理・分析する	① ②		
		・調べて分かったことをリーフレットにまとめる。(2)	ウ 考えをまとめる		②	②
総合的な学習の時間	2 ムラサキ(紫根染)と出会う (2)	・平館高校の生徒が手作りする紫根染のコサージュから、ムラサキ(紫根染)について関心を高め、単元の学習課題をつくる。(1)	ア 考えを引き出す エ 考えをつなげる	①		①
		・学習課題について予想し、各自の学習課題を立てる。この時点でのピラミッドシートを作成する。(1)	ア 考えを引き出す ウ 考えをまとめる		①	
	3 ムラサキ(紫根染)について調べる (12)	・ムラサキを知るための具体的な計画を立てる。 ・ムラサキについて調べたり、インタビューしたりしながら必要な情報を集める。 ・平館高校の方から話を聞く。(8)	イ 考えを整理・分析する	②	②	
		・分かったことを整理して、ムラサキのことについて、分かったことを整理してどんなことを伝えたいかを考える。(2)(本時2/2)	ア 考えを引き出す ウ 考えをまとめる		③	②
4 ムラサキ(紫根染)について伝える (7)	・ムラサキについて発信する準備をし、発信する。(6)(紫根染めとリーフレットの展示) (保護者や地域の方々、平館高校の生徒さんにリーフレットやパワーポイントを見てもらう)	イ 考えを整理・分析する ウ 考えをまとめる	③	④		
	・単元を振り返り、つけた力を確かめる。(1)	ウ 考えをまとめる エ 考えをつなげる	③		③	

